

アルジェリア政治・経済月例報告
(2018年9月)

平成30年10月
在アルジェリア日本国大使館

1 内政

- 24日付各紙は、ブハジャ国民議会議長がスレイマニ同議会事務総長を突如、解任し、抵抗する同事務総長を議会事務局から守衛によって力尽くまで追い出し、ハーシミー同官房長を事務総長代行に任じたと報じた。その後、ブハジャ議長の議会運営に反発する声が高まり、一部議員が同議長の解任を求めた。
- 27日、同議長は自分を解任できるのは大統領のみである旨発言。
- 28日、ウルド・アッベス FLN 事務総長は同党所属議員との会合後、議会活動の正常化のため、同議長の辞職を求める意向と述べた。
- 29日、2005年の同日に国民投票が行われた「平和と国民和解の為の憲章」の実施促進司法作業部会長マルワーン・アズズィ氏は、憲章の条項のほぼ全てが実施済みであり、それを完結する手続きが必要であると述べた。同部会の最終報告書によると同憲章の恩恵を受けた（刑務所出所等）のは2014年末までに8752人に上った。
- 29日、ブーテフリカ大統領は、シュレフ、ウメル・ブアーギ、ティパザ等18県の県知事を交代させた。
- 30日、ブハジャ国民議会議長の辞職要望書に署名した同議会の5会派（FLN, RND, TAJ, アルジェリア民衆運動（MPA）他）の長らは、同要望書には議員351名が署名したと明らかにし、同議長が辞職するまで議会活動を凍結すると声明を発表。

2 外交

- 6日付報道によると、ウーヤヒヤ首相は第3回中国・アフリカ協力フォーラム（FOCAC）首脳会合に出席するため訪中し、習近平国家主席を表敬し、習主席は「一帯一路」イニシアティブへのアルジェリアの加入を祝福した。一方、同首相は「同国家主席が発表した今後3年間にわたる多額な支援によるイニシアティブは、アフリカ開発に参加する中国のコミットメントを示す証拠である」旨称賛した。FOCACのマージンで、メサヘル外相と何（ヘイ）国家発展改革委員会（NDRC）委員長とがアルジェリアの「一帯一路」イニシアティブへの加盟に関する覚書に署名した。
- 6日、メサヘル外相は、来訪したボレル・スペイン外務・EU・協力相と会談し、両国間の再生可能エネルギー、産業、農業及びエネルギー分野における

協力、並びにリビア、サヘル地域、西サハラ等について協議した。

● 11日、メサヘル外相はアラブ連盟の第150回定例会合にてUNRWAへの米国の拠出停止について残念であると述べた。同日、ジャアファリー・イラク外相と会談し、二国間関係等につき協議し、同外相からバグダッド訪問招請を受けた。

● 12日、ガイド・サラ国防副大臣兼国軍参謀総長の代理としてシェリフ（Zerrad Cherif）少将は、共同軍事参謀委員会（CEMOC）議長でニジェール軍参謀総長のアーメド・モハメッド（Ahmed Mohamed）中將の招待に応じ、ニアメで実施されたCEMOC会議に参加した。

● 13日、ブーテフリカ大統領はマクロン仏大統領と電話会談を行い、マリ及びリビア情勢等について協議した。

● 13日、メサヘル外相は、アクラ（ガーナ）で催されたコフィ・アナン元国連事務総長の葬儀に出席。

● 17日、ブーテフリカ大統領は来訪したメルケル独首相と会談し、両国間の経済貿易パートナーシップの構築と強化、リビア、西サハラ、マリ、サヘル地域、中東情勢、移民、テロ対策について協議した。会談にはウーヤヒヤ首相、メサヘル外相、ベドゥイ内務・地方自治・国土整備相及びユースフィー産業・鉱業相が同席した。

● 17日、ベンサラ国民評議会議長は、新任のソン・チャン・シク当地「朝鮮人民民主主義共和国大使」と会談し、二国間協力関係の強化策について協議した。両者は両国を結びつける歴史的な友好協力関係を称賛し、協力分野拡大に関する強い政治的意思を強調した。

● 17日、メサヘル外相と来訪したマンスーリ・アラブ首長国連邦（UAE）経済相は、宗教、文化、公共事業に係る覚書3件にそれぞれ署名し、アルジェリア標準化研究所長と連邦標準化計測庁長官は技術的な協力に係る覚書に署名。両国は2019年3月、アルジェリア証券取引組織委員会とUAEのカウンターパートとの会合開催に合意した。

● 18日、メサヘル外相は、来訪したアリアス化学兵器禁止機関（OPCW）事務局長と会談し、両者間の協力について協議した。

● 22日付報道によると、ウセディック・アルジェリア宇宙庁長官とサイファーン・インド宇宙庁長官は、科学・技術・宇宙分野における協力に係る覚書にバンガロールにて署名。

● 22日、ウーヤヒヤ首相はケイタ・マリ大統領の再選・就任式に出席し、同大統領を表敬。21日、マリを訪問した同首相はマイガ首相と会談。

● 27、29日付報道によれば、メサヘル外相は国連総会にあわせて開催されたマリ、シリア及び南スーダンに関するそれぞれのハイレベル会合に出席。

- 28日、メサヘル外相は第73回国連総会のマージンにて、北朝鮮のカウンターパート李容浩（リ・ヨンホ）氏と会談し、両外相は9月25日の外交関係樹立60周年に関し祝意を表した。両者は朝鮮半島情勢及び両者共通の関心事である地域・国際情勢について協議した。
- 29日、メサヘル外相は第73回国連総会において、「アルジェリアが提案した5月16日を『国際平和共生の日』とする国連決議は、国内・国際的な安定に対する危機への解決を模索することにつながる包括的な対話の原則を促進する努力の一環である」等とする一般討論演説を行った。

3 治安

- 3日付け報道によると、軍当局は、8月の活動報告の中で無人飛行機6機の押収に言及した。専門家はテロリストが無人機を使う可能性を懸念（武器や弾薬の輸送）。米軍の調査機関は2017年報告書の中でISILの無人機使用に関する調査を掲載し、近い将来、ISILが無人機から爆撃を行う可能性を指摘した。
- 6日付報道によると、保健省は、コレラ菌発生源としてブリダ県の河川ウェッド・ベニ・アッサを特定した。同河川から流出する水脈はアルジェ県の農業地まで達し、農業に使われていた。これに伴い、保健省はコレラの広がりを阻止すべく、必要な措置を講じている。
- 9日、アルジェ県ボロギン地区の競技場で行われていたサッカーアラブ杯アルジェリア対イラクの試合が開始後70分で中止した。理由は、アルジェリア応援団がサダム・フセインを賛美しシーア派を攻撃するスローガンを叫んだことにイラク・チームが反発したためであった。翌10日朝、イラク外務省は駐イラク・アルジェリア大使を召喚し、抗議した上で説明を求めた。
- 11日付報道によると、アルジェリア人権連盟（LADH）の調べによれば、アルジェリアの年間自殺者数は約1,100名、自殺未遂者は約9,000名である。専門家によると、失業、貧困等の生活難や孤独は自殺を決意させる決定的な動機ではなく、様々な心理的、精神医学的要因が考えられる。
- 23日付報道によると、エル・ウルマ地区（セティフ県第2の都市）治安機関は座薬型向精神薬の所持者3人（20歳から25歳）を逮捕した。座薬式麻薬は効果が強く非常に危険な薬物である。消費者筋のよれば輸入元は中国であり、欧州その他の諸国は2015年以来、この新たな型の麻薬へ対策を迫られている。
- 27日付報道によると、米国のシンクタンクはアルジェリアのテロ情勢・テロ対策を次の通り評価した。①テロ脅威が高く、特に「アラブの春」で状況が悪化したマグレブ地域の中で、アルジェリアは例外的に安定を保ち、脅威を国

境外に押し留めている。アルジェリア国内のテログループは大幅に弱体化し、AQMIにせよISILにせよ大規模なテロを行う手段を有さない。②アルジェリアは長年にわたりテロ対策経験を蓄積し高度な対テロ能力を有しており、地域のテロ対策に貢献している。アルジェリアのテロ犠牲者数は2009年の153人から2016人の9人まで減少した。

4 経済

●2日、関税庁は2018年1月～7月の貿易統計を発表。貿易赤字は前年同期比で53.5%減の32億5200万ドル。輸出が同17.08%増の236億5600万ドル、輸入は同1.06%減の269億800万ドル。炭化水素の輸出高が同15.23%増加し、全輸出高の93.09%を占める。炭化水素以外の輸出高は同49.5%増加。

主要貿易相手国は以下のとおり（括弧内の数字は全体に占める割合）：

【輸出】

- 1 伊：32億800万ドル（13.89%）
- 2 西：28億8000万ドル（12.16%）
- 3 仏：27億7000万ドル（11.71%）
- 4 米：21億6000万ドル（9.14%）
- 5 英：16億5000万ドル（6.97%）

【輸入】

- 1 中：41億3000万ドル（15.36%）
- 2 仏：26億7000万ドル（9.91%）
- 3 伊：22億ドル（8.18%）
- 4 西：21億3000万ドル（7.92%）
- 5 独：18億8000万ドル（7.02%）

なお、中国からの輸入高は前年同期比で21.05%減少した。代わりに対仏輸入高が9.9%、対伊で9.1%、対西では21.1%増加する等、EU諸国からの輸入が増加している。

●3日、ギトゥーニ・エネルギー相は、炭化水素法の改定に関し、最初の草案が12月末頃に策定されるとの見通しを表明。また、2019年予算法案については、ガソリン等の燃料代や電気料金等、いかなるエネルギー関連の値上げも同法案に盛り込まれることはない旨発言。

●4日、ソナトラック社は、スキクダにおける新たなLNGタンカー用埠頭建設及び石油宇積み出し港拡張工事に係る入札で、韓国の現代建設、中国港湾（C

HEC)等4社が技術資料を提出した旨発表。

●4～7日、世界銀行のベルハッジ中東・北アフリカ地域担当副総裁が当地を訪問。ウーヤヒヤ首相、ラウイア財相、ベドゥイ内務・地方自治・国土整備相、ユースフィー産業・鉱業相、ザアラーン公共事業・運輸相と会談。当国の経済について「良い方向に進んでいる」とし、対外借入れについては現状では行う必要がないとの見解を表明。

●6日、当国のISLYと仏イプセンが法令に則り51/49の出資比率で合弁会社を設立し、当国にガン治療薬の工場を建設することを発表。投資額は2000万ユーロ。

●9日、国営電子産業公社(ENIE)のジャメル会長は、同社が中国企業SZZTR社との協力により製造した500台の電子決済端末が、本年8月にアルジェリア郵便に納品された旨発表。同端末は本年9月中にアルジェリー・テレコムにも納品される予定で、現在運用試験が最終段階にある。

●10日、ベンメサウド観光・手工業相は、現在アルジェで82の新しいホテルの建設プロジェクトが進行中であり、今後ベッド数が14000台増加、約6万人の雇用が創出される旨発言。

●13日、ユースフィー産業・鉱業相は国民議会において、2022年に操業開始が予定されている当国東部のリン加工コンビナートについて、投資規模が総額で約60億ドルに上る見込みである旨発言した。内訳はテベッサ県の鉱山開発に12億ドル、スーカハラス県及びスキクダ県のプラットフォームに各々22億ドル及び25億ドル、アンナバ港の整備に2億ドル。同コンビナートは、テベッサ県で採掘される高品質のリンを肥料、アンモニア、シリコン等に加工するもので、ソナトラック社及びアスミダルーマナル・グループと中国のCITIC及びWENGFUとが本年中にジョイントベンチャーを作りプロジェクトを実行する。

●18日、仏プジョー・シトロエンのパートナーであるコンドール・エンジニアリングのベンハマディ会長は、当国におけるプジョー車の生産開始が工場建設用地の収用の問題で2年後にずれ込む旨発言。

●24日、ユースフィー産業・鉱業相はバトナを訪問し、韓国キアの乗用車及びヒュンダイのトラックを製造するグローバル・グループの新工場の開設式に出席した。同大臣はまた、キアの乗用車販売価格について、2019年末までに20～30%下がることを期待する旨発言した。

●26日、政府が議会で提出する2019年予算法案が、ブーテフリカ大統領が主宰する閣議において了承。歳入が6兆5080億ディナールに対し、歳出は8兆5570億ディナールで2兆ディナール超の赤字予算。家族手当、住宅手当、保健衛生、生活必需品補助金等の社会保障費に全体で約1兆7630億

ディナールが割り当てられている。なお、同予算法案は以下の経済指標の予測を前提として策定された：

- ・原油価格：50 USD／1バレル
- ・経済成長率：2.6%
- ・インフレ率：4.5%
- ・対ドル為替レート（最高値）：118ディナール／1米ドル

5 日本との関係

- 小川大使はズール・アルジェ県知事（5日）、ハビリ国家警察庁長官（24日）、ザアラン公共事業・運輸相（25日）、ウルド・カドゥール・ソナトラック社総裁（26日）及びミフビ文化相（27日）を相次いで表敬訪問し、各分野における日・アルジェリア間の協力強化について意見交換を行った。
- 24日、アルジェリア・日友好議連が発足。小川大使は国民議会で開催された発足式典に出席。同議連発足については当地各紙が報じるとともに、国民議会のホームページにも記事が掲載された。

<アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
9月2～5日	中国	メサヘル外相	第7回中国・アフリカ協力フォーラム（FOCAC）閣僚会合に出席。何・国家発展改革委員会委員長とともにアルジェリアが中国の「一帯一路」イニシアティブに加盟する旨のMOUに署名
9月2～5日	中国	ウーヤヒヤ首相	ブーテフリカ大統領の代理として第3回中国・アフリカ協力フォーラム首脳会合に出席。習・中国国家主席、シェーヘッド・チュニジア首相及びロペス対EU関係担当AU高等代表と会談。アルジェリアに進出する中国企業（中国建筑（CSCEC）、中信集団（CITIC）、中国鉄建（CRCC））の各社長の表敬を受ける
9月3～7日	エチオピア	フェラウン郵便・情報通信・	万国郵便連合特別会議及び担当閣僚戦略会議に出席

		技術・デジタル相	
9月5～8日	ルーマニア	ベッダ議会関係相	イリエ議会関係相，ゲオルギタ外務省総務担当政務次官，タルテアタ観光大臣政務次官，ゴルギウ元老院副議長及びニコリチェア代議院副議長と会談。両国の議会間協力に関するMOUに署名
9月10日	米国	ジェラブ商業相	アルジェリア週間の開幕式典に出席
9月11日	エジプト	メサヘル外相	第150回アラブ連盟外相会合に出席。ジャアファリー・イラク外相と会談
9月13日	ガーナ	メサヘル外相	ブーテフリカ大統領の代理としてアナン元国連事務総長の葬儀に参列
9月14～20日	ケニア	ゼルアティ環境・再生可能エネルギー相	第7回アフリカ環境大臣会合（AMCEM）に出席。ベン・ハッセン・チュニジア環境相，フアド・エジプト環境相及びクデヌクポ国連環境計画アフリカ地域ディレクターと会談
9月15日	ベルギー	ジェラブ商業相	第73回アントワープ国際見本市の開会式に出席（アルジェリアが名誉招待国）。ミシェル首相，ド・クロー副首相兼開発援助・デジタルアジェンダ・情報通信・郵政相同席
9月19～20日	中国	ゼルアティ環境・再生可能エネルギー相	第12回ニュー・チャンピオン年次総会（夏季ダボス会議）に出席
9月19～21日	ロシア	エッダリア国民連帯・家族・女性相	第2回ユーラシア女性フォーラムに出席
9月21日	マリ	ウーヤヒヤ首相	ブーテフリカ大統領の代理としてケイタ大統領の就任式に出席。

			マイガ外相と会談
9月21日	ポルトガル	ミフビ文化相	第2回5+5諸国対話文化相会合に出席
9月23～ 28日	米国	メサヘル外相	第73回国連総会に出席。カバ・シエラレオネ外相，カシス・瑞外相，アセルボーン・ルクセンブルク外相，アル・ムアッリム・シリア外相，サファディー・ヨルダン外相，李・北朝鮮「外相」，レゲンバヌ・バヌアツ外相，ムナツァカニャン・アルメニア外相，フリストドゥリディス・キプロス外相，チャプトヴィチ・ポーランド外相，ミクセル・エストニア外相，ラヴロフ露外相，サバーハ・ハーリド・クウェート第一副首相兼外相，ザリフ・イラン外相，ロドリゲス・キューバ外相，エスピノサ第73回国連総会議長，ケーラー西サハラ担当国連事務総長個人特使，アナディフ国連マリ多元統合安定化ミッション代表，ヴォロンコフ国連テロ対策局事務次長，カメル地中海連合事務総長及びマレー国際危機グループ会長と会談
9月27～ 28日	モロッコ	メデルシ憲法評 議会議長	立憲司法国際学術会議に出席

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
9月3～6 日	アフリカ開 発銀行	シェリフ地域開 発・統合・サー ビス担当副総裁	ギトゥーニ・エネルギー相，ユースフィー産業・鉱業相，ザアラン公共事業・運輸相，フェラウン郵便・情報通信・技術・デジタル相及びルカルアルジェリア中央

			銀行総裁と会談
9月4～7日	世界銀行	ベルハッジ中東・北アフリカ担当副総裁	ウーヤヒヤ首相, ラウイア財相, ベドゥイ内務・地方自治・国土整備相, ユースフィー産業・鉱業相, ザアラーン公共事業・運輸相と会談
9月6日	スペイン	ボレル外務・EU・協力相	メサヘル外相と会談。ウーヤヒヤ首相を表敬
9月17日	ドイツ	メルケル首相	ウーヤヒヤ首相と会談。ブーテフリカ大統領を表敬
9月17～18日	アラブ首長国連邦 (UAE)	マンスーリ経済相	メサヘル外相と第14回アルジェリア・ア首連合同委員会を共催。ウーヤヒヤ首相を表敬。ギトウーニ・エネルギー相, ユースフィ産業・鉱業相と会談
9月18日	化学兵器禁止機関	アリアス事務局長	メサヘル外相と会談
9月22～23日	ロシア	ノヴァク・エネルギー相	OPEC加盟国・非加盟国モニタリング会合に出席。ギトウーニ・エネルギー相と会談
9月22～24日	ムスリム世界連盟	イーサ事務総長	ブハジャ国民議会議長, ベンサラ国民評議会議長及びウーヤヒヤ首相を表敬
9月23日	UAE / OPEC	マズルーイ・エネルギー相 / OPEC議長	OPEC加盟国・非加盟国モニタリング会合に出席。ギトウーニ・エネルギー相と会談
9月23日	サウジアラビア	ファーレフ・エネルギー・産業・鉱物資源相	OPEC加盟国・非加盟国モニタリング会合に出席
9月23～24日	アゼルバイジャン	シャフバゾフ・エネルギー相	OPEC加盟国・非加盟国モニタリング会合に出席。ギトウーニ・エネルギー相と会談

(了)